



2026年10月6日

日本鉄道労働組合連合会

## J R 連合中国地協第 34 回定期総会

# 地域で横のつながりを強化し総結集を果たす

J R 連合中国地方協議会は、8 月 26 日、周南市内において第 34 回定期総会を開催し、向こう 1 年間の方針を決定した。会場には中国エリアのグループ労組を含めた各単組から 40 名超が集結した。

第34回定期総会



石松議長

冒頭、中国地協を代表し石松大介議長（J R 西労組広島地本執行委員長）が挨拶に立ち、安全の確立、組織の強化・J R 連合への総結集、取り巻く環境の変化に伴う政策課題の解決、労働条件のさらなる向上等について述べた。



宮野企画局長

J R 連合からは宮野勇馬企画局長が出席し、「当たり前の日常」を支えるグループ労組を含めた組合員に敬意を表するとともに、安全はもとより、産業政策や組織強化等の課題に対する認識を示した。また、その解決には地域協議会での横のつながりを強化することが重要であると訴え、各地域・各級機関でのさらなる取り組みを呼び掛けた。

J R 西労組からは福本英治中央副執行委員長らが出席し、代表してあいさつした福本副委員長は、安全の確立に向け、A B C（当たり前のことをバカにせずちゃんとする）運動の浸透に向けた取り組みや、物価高に負けない 2 7 春闘を作り上げる決意を述べた。



JR西労組  
福本副委員長



総会終了後、働く者のための『労働基準関係法制』実現に向けた連合のフォトメッセージを撮影

議事では、亀山泰孝事務局長（J R 西労組米子地本執行委員長）から運動方針などが一括で提起され、石松議長、亀山事務局長をはじめとする役員の選出も含め、すべての議案を満場一致で承認し、石松議長の団結ガンバロウで力強く会を閉じた。